

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2022年 1月 31日

事業所名: アニマートかわにし

サービス種類: 放課後等デイサービス

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--------------|--|---|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | ブレイルームと運動室の2つがあるため、用途や人数により場所を分けて使うことが出来ている | ほとんどの保護者が「はい」と回答。事業所に足を運んでない方で「どちらともいえない」「わからない」との回答が数名あり。 | 概ね満足していただけていると思う。時と場合により個室が必要と判断したら現状個室はないため相談室や事務所を使って対応していく |
| | 2 職員の適切な配置 | あと1~2名必要 | はい...40% どちらともない...35% わからない...25% | 去年度はスタッフの入れ替わりが多かったため、何人のスタッフが現在いるか保護者の方に分かりにくい部分があった。通信等を通して通知はしていたが、引き続き伝えるようにしていく |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | バリアフリーが必要な児童は現在なし 活動スケジュールの視覚支援や音を利用しその時々にあった整備を行っている | はい...70% わからない...30% | 引き続き利用者の特性に合わせて環境を見直していく中で、視覚支援を増やす |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 物の整理整頓、毎日の清掃、消毒、換気により清潔で活動しやすい空間を心がけている。活動に合わせてパーテーション等を使い空間を仕切っている | はい...70% わからない...30% | 今後も気持ちよく過ごせる環境を心がける |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 朝に送迎確認、一日のスケジュール確認を実施 それ以外にもその都度気になった子との話し合いは行っている | | |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 実施していない | | 今のところ実施予定なし |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 会社での合同の研修を受けていたが、コロナにより最近減っている | | オンライン等を利用し外部研修を受けられる機会を増やし資質向上を目指す |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 支援の記録や送迎時での保護者からの聞き取りを合わせて計画書を作成 | | 相談員さんとのモニタリング、学校との連携、保護者の方からの聞き取りを通じて、より良い計画が作成されるよう実施する |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 日々の子供の変化に合わせた支援を行うよう努めている | はい...95% わからない...5% | アセスメントを正確に行い、個別の課題にあった支援計画を作成していく |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 半年ごとの見直し時や日々の支援で感じたことをその都度話し合い意見をまとめている | | 今後も継続して行う |
| 適切な支援の提供(続き) | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 日々の変化に対応・支援できるように随時話し合いを行っている | はい...80% わからない...20% | 日々の話し合いを継続して行い、より計画に沿った支援内容にしていく |
| | 5 チーム全体での活動プログラムの立案 | 日々の話し合いの中でプログラムを決定 偏らないメニューをスタッフ各々出し合っている | | 今後も工夫した活動内容となれるよう話し合いを続ける |
| | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 平日は短時間で取り組める内容を考えて実施 休日や休暇時は外出や時間をかけて取り組める内容のものを入れるようにしている | はい...95% わからない...5% | 感染対策をしながら今後も継続して行う |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 動・静のプログラム等偏ることがなく、飽きないような内容を考え、いろんな経験ができるようにしている | | 来ている子供たちに合わせ柔軟に対応していきながら今の形を継続して行う |
| | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 随時情報共有を行い、確認している | | 今後も継続して実施 |
| | 9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 支援終了後や翌日朝に支援時の出来事や、車での様子、ヒヤリハット等を全スタッフで共有している | | 今後も継続して実施 |
| | 10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | その日のうちに連絡帳を担当したスタッフが記録し必要があれば共有をしている | | 今後も継続して実施 |
| | 11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 半年に一回、又送迎時等にモニタリングや聞き取りを実施 | | 保護者の方としっかり話し合いを進め、具体的な到達目標を設定する |
| | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 | サービス担当者会議は行われておらず、相談支援事業所とはモニタリングの際に話し合う | | |
| | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | 現在該当者なし | | 現在該当者なし |
| | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | 現在該当者なし | | 現在該当者なし |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------------|--------|---|---|---|--|
| 関係機関との連携 | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有 | | 今後児童発達支援事業所から移行してくる場合は、事前に支援内容について情報を共有できるよう努める | |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供 | | 今後卒業者がいる場合、保護者からの同意を得て情報提供したい | |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | | 相談支援事業所からの情報を得ながら専門機関との連携を模索していく | |
| | 7 | 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | ほとんどの子が地域の学校に通っており、デイに来る日以外は友達と遊んだり、習い事をしているためあまり必要ないと考えている | はい…30% どちらともいえない…5% いいえ…5% わからない…60% | 今後は必要に応じて実施する |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 地域の住民、店舗との交流は大切に、イベントに協力してもらっている 地域清掃を年2回ほど取り入れるようにしている | | 今後も継続して実施 |
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 契約時に説明 | はい…90% どちらともいえない…10% | 今後も丁寧に説明し、伝わるよう努める |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 半年に一回又は見直しの際説明 | はい…60% どちらともいえない…5% わからない…35% | サービス計画を分かりやすく保護者に説明していく |
| | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 充分にはできていないが、相談を受けた際や送迎時に話すようにしている | はい…40% どちらともいえない…25% わからない…35% | 保護者の方の状況を見て必要に応じ対応等について伝えていくようにする |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 主には送迎時にコミュニケーションを取るよう努めている | はい…95% どちらともいえない…5% | 今の状態を継続しつつ、学校での様子や支援計画作成時等による子供の課題について共通理解ができるよう機会を増やす |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 送迎時やそれ以外でも相談してもらえるようコミュニケーションをとっている | はい…60% どちらともいえない…20% いいえ…20% | いつでも相談しやすい事業所であるように心がける |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | コロナにより今年度の保護者会は中止にした | はい…30% どちらともいえない…10% いいえ…10% わからない…50% | コロナ等が落ち着いたら開催したい |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 今年度は苦情なし 職員で対応できる事は職員間で周知対応すると同時に相談支援事業所に相談・報告している | はい…60% わからない…40% | 苦情や要望を言しやすい環境を作る |
| | 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 視覚支援や個々に合わせたコミュニケーションを実施するようにしている | はい…95% どちらともいえない…5% | 今後も視覚支援を増やしていきたい |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 今年度より月に一回通信を発行 活動報告や写真を掲載している | はい…100% | 通信やブログを楽しみにしているとの声が多数あり。今後も継続して行う。又活動写真のお渡しを多くしていきたい |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 個人ファイルは鍵のかかるロッカーに保管、不要になった情報はシュレッダーをかける等 秘密保持の徹底を行っている | はい…75% わからない…25% | 今後も継続して実施 |
| 非常時等の対応 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | その都度必要なことは通信にて発信 | はい…60% わからない…40% | 今後も継続して実施 |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 年2回避難訓練を実施 | はい…70% どちらともいえない…10% わからない…20% | 今後も継続して実施 |
| | 3 | 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 社内研修を実施 | | 今後も継続して実施 |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 1.切迫性 2.非代替性 3.一時性の3要件を満たす場合にのみ拘束の可能性のあることを伝え同意書を得ている | | 同意書はもらっているが、拘束しなければいけない可能性がないため計画には掲載しておらず今後必要に応じて対応していく |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 該当している児童は現在なし 契約時にアセスメントで保護者から聞き確認している | | 今後食物アレルギーのある児童が利用する際は保護者に依頼し医師の指示書を頂き対応する |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | その都度作成するようにはしているが、記入し忘れてしまうことも多い 記入した際は職員で情報共有している | | 今後も継続して実施 |